

学校評価システム 「平成28年度 後期 自己評価の概要」

今回は、今年度の総まとめとして、学年別集計から課題分析を行いました。アンケートの結果はおおむね良好で、一年間の成長がうかがえる結果となりました。

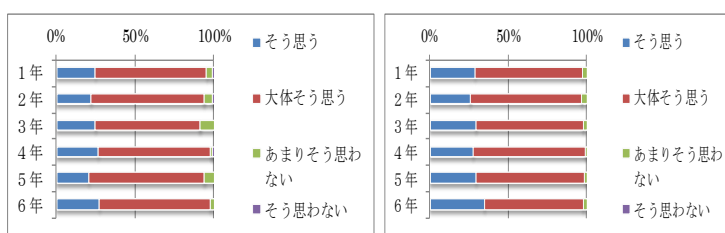
○学校運営について○

- 学校の取組がわかりやすいお便りやホームページになっているかについては、どの学年も肯定的な意見が大半でした。情報公開やわかりやすい発信が増えたと考えます。いつも楽しみにご覧いただき、ありがとうございます。
- 「学校が楽しい」という回答は前後期を通して児童・保護者とも9割を超えており、居心地の良い学校の環境になっていると考えます。さらに一人一人に寄り添い、これからもさらに楽しい学校作りを目指します。

学校の方針や取組がわかりやすいプリントやホームページになっている。(保護者)

前期

後期



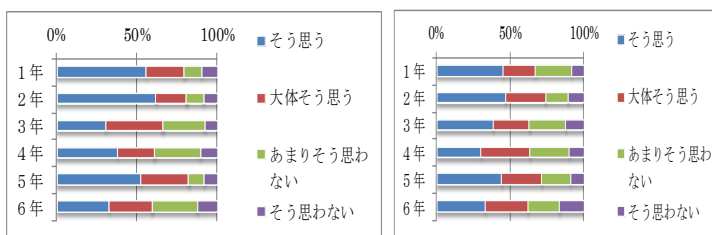
○確かな学力について○

- 各種調査結果からは、どの学年も学力が順調に身についていることがわかります。しかし、アンケートからは、学年により、わかったという実感にばらつきがあることがわかりました。アンケート結果をもとに、改めてわかる喜びを味わわせる学習を積み重ねていくことが大切だと協議しました。
- 読書習慣については前期の結果を踏まえて取組を進めてきましたが、前期からの大きな改善には至りませんでした。取組の反省を踏まえて今後も読書指導を継続します。ご家庭でも子どもの読書推進にご協力をお願いします。

あなたは、朝の読書以外でも、よく本を読んでいますか。(児童)

前

後



○その他○

- 例年あまり数値の高くない保護者の「子どもはそうじや整理整頓を心がけている」の項目で後期は「そう思う」の割合が50%を超える学年が出てきました。前期の評価結果を受けて学校と家庭が取組を続けてきた成果が表れ始めたのかと思われます。